

白川ウラジログシ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 伊豆森林管理署
所在地	静岡県賀茂郡西伊豆町
面積	5.08ha
設定年	平成3年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	分布限界に近い暖温帯上部に成立しているカシ林で、アカガシ、ウラジログシ、スタジイ、タブノキを主体とし、ルリミノキ、カクレミノ等、多様な樹種構成をもつ天然林として、植生分布及び学術上、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、分布限界に近いシイ・カシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



ウラジログシ穿孔跡

モニタリング調査概要

実施年度	平成22年、平成27年、令和2年、令和7年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ウラジログシ群落において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。
結果概要	保護対象種であるウラジログシにカシノナガキクイムシの穿孔が確認されており、ブナ科樹木の生育への影響が懸念される。また、林相等に大きな変化はまだみられないものの、ニホンジカの採食圧による影響で下層植生が保護林全体としてはやや減少しており、ウラジログシの稚樹や実生が少ない状況であった。